



ガス用

キロン® VI

硬質塩化ビニル外面被覆鋼管

- このカタログに記載された技術情報（品質試験結果）は、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」及び「用途」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。
- ご使用に当たっては、このカタログに記載されている用途、注意事項及び作業手順と留意点を必ず守ってください。不適切な使用等によって生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。



株式会社 協成

<http://www.kyosei.com>

大阪本社 〒550-0023 大阪府大阪市西区千代崎3丁目1番3号 TEL.06 (6583) 6100 FAX.06 (6583) 6105
東京本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町2丁目14番5号 TEL.03 (5642) 2302 FAX.03 (5642) 2308
KDX浜町中ノ橋ビル6F

北海道営業所 TEL.011(811)8038 京都営業所 TEL.075(681)8201
東北営業所 TEL.022(782)6560 大阪支店 TEL.06(6541)6001
北関東営業所 TEL.028(681)5025 岡山営業所 TEL.086(805)6511
新潟営業所 TEL.025(272)2438 広島営業所 TEL.082(270)1125
神奈川営業所 TEL.0467(79)5461 四国営業所 TEL.089(973)5052
名古屋支店 TEL.052(659)6201 福岡支店 TEL.092(651)9730
四日市営業所 TEL.059(353)1176 北九州営業所 TEL.093(582)1341
静岡出張所 TEL.054(261)2361 南九州営業所 TEL.099(260)5051
北陸営業所 TEL.076(253)0811

豊かな未来につなげますーライフライン

キョーセイ

防食で社会に貢献するキーロンパイプ

地下埋設用鋼管の腐食は、近年多種多様な環境変化により、大きくクローズアップされてまいりました。当社では、この問題に正面から取り組み、昭和43年、キーロンパイプを開発、製造販売しております。キーロンパイプは機械的強度に優れた鋼管に、腐食に強い硬質塩化ビニルを外面に被覆することにより、耐食性、耐薬品性、絶縁性に優れた防食鋼管として、その真価を発揮しております。また、防食用キーロン継手もとりそろえ、トータルな防食をめざして邁進しております。(株)協成のキーロン商品をよろしくお願い申し上げます。

特長・規格・構造

鋼管の強度と硬質塩化ビニルの耐食性が合体

電食や地中埋設等の腐食環境からガス配管を守る——**キーロン**

キーロンVIとは…JIS G 3452の配管用炭素鋼鋼管の外面に硬質塩化ビニルを接着剤で被覆したもので、鋼管の外部を電食や腐食から保護する目的でつくられたものです。

特 長

1. 耐食性、耐薬品性、絶縁性に優れている。

硬質塩化ビニルは、酸、アルカリ、塩類に強く、地中埋設で長期間使用しても電気的特性が変らず、鋼管を完全にガードします。

3. ピンホールや亀裂、剥離の心配がない。

押し出し成形の硬質塩化ビニルのため、ピンホールや亀裂がありません。また、接着剤で強力にライニングしていますので、剥離の心配がありません。

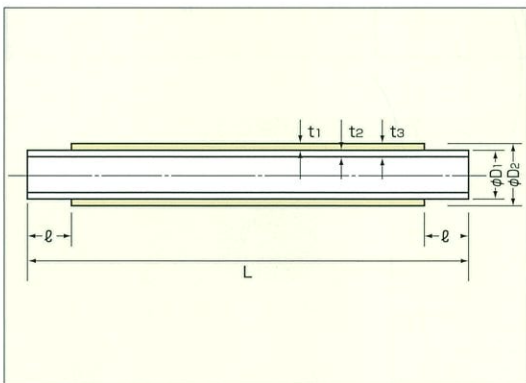
2. 耐候性に優れている。

耐候性に優れた硬質塩化ビニルを使用していますので、露出配管として使用できます。

4. 施工が容易です。

外面の硬質塩化ビニルをはがなくても、切断、ねじり穿孔による分岐など、鋼管と同様に容易に作業が出来ます。

規 格

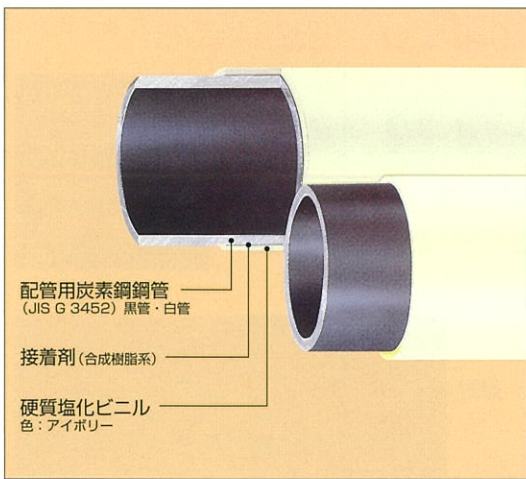


単位：mm

呼び径 (A)	長さ L	キーロンVI				鋼 管				被覆		未被覆 長さ ℓ
		外 径 φD ₂		肉 厚 t ₃		外 径 φD ₁		肉 厚 t ₂		肉 厚 t ₁		
		規格値	許容差	規格値	許容差	規格値	許容差	規格値	許容差	規格値	※許容差	
15	4000 5500 ^{+40 -0}	25.7	±0.9	4.8	+規定 しない -14%	21.7	±0.5	2.8	+規定 しない -12.5%	2.0	-0.2	15以下
20		31.0		4.7		27.2		3.2		1.9		
25		37.8		5.1		34.0		3.2		1.9		
32		46.3		5.3		42.7		3.5		1.8		
40		52.0	5.2	48.6		3.5	1.7					
50		63.7	5.4	60.5		3.8	1.6					
65	5500 ^{+40 -0}	79.5	±1.1	5.8	+規定 しない -14%	76.3	±0.7	4.2	+規定 しない -12.5%	1.6	-0.3	45以下
80		92.3	±1.2	89.1		4.2	1.6					
100		118.3	±1.4	6.5		114.3	±0.8	4.5		2.0		
125		143.8	±1.5	7.5		139.8	±0.8	5.0		2.0		
150		170.2	±1.5	7.5		165.2	±1.0	5.8		2.5		
200		221.3	±1.7	8.3		216.3	±1.0	5.8		2.5		

※被覆部肉厚(t₁)のプラス許容差は、外径(D₂)を超えない厚さとする。
(注1) 原管はJIS G 3452の黒管又は白管を使用します。
(注2) 製品はネジ無しです。
(注3) 125～200Aは受注生産となっております。

構 造



設置場所別 使用可能な配管材料

腐食環境からガスを保護するため使用場所に応じて下表より材料を決定してください。

設置場所	配管材料の種類	白管	被覆白管	塗装白管	プラスチック被覆鋼管			ポリエチレン管	被覆黒管 (注1)	塗装黒管 (注1)	鋼管
					硬質塩化ビニル被覆鋼管	ポリエチレン被覆鋼管	ナイロン12被覆鋼管				
					◎	◎	◎				
露出部	屋 外	○	○	○	◎	◎	◎	×	○	○	○
	床 下	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
	多 湿	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
	それ以外	○	○	○	◎	◎	◎	×	○	○	○
埋設部	多 湿 部	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
	水の影 響	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
	それ以外	○	○	○	◎	◎	◎	×	○	○	○
	埋 込	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
壁・床等の内部	埋 込	×	×	×	◎	◎	◎	×	○	×	×
	空 洞 部	○	○	○	◎	◎	◎	×	○	○	○

○…使用できるもの ◎…推奨材料 ×…使用できないもの
(注1) 被覆(塗装)黒管は溶接接合する必要がある場合に限り使用できるものとする。
(注2) ポリエチレン管は、基礎等を貫通する場合、さや管その他の防護措置を講じること。

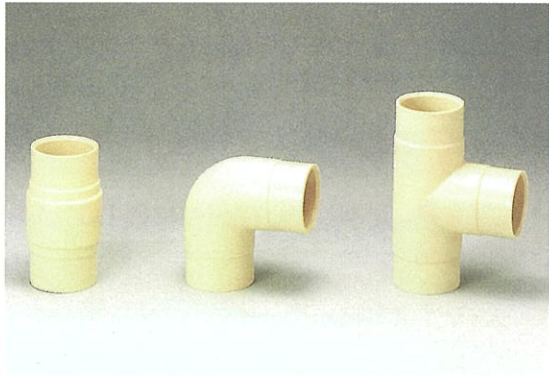
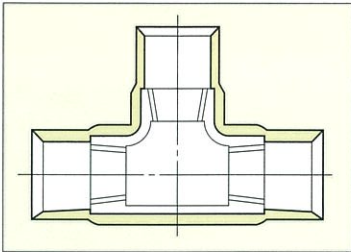
も く じ

●特長・規格・構造	2
●継手の規格・付属品	3
●品質	4
●配管施工方法	6
●外面被覆の耐薬品性	9
●取扱上の注意事項	10

継手の規格と種類

規格

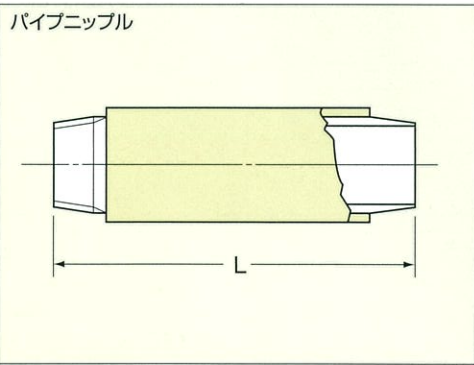
キーロンVI継手は「JIS B 2301 ねじ込み式可鍛鉄製管継手」の外面に硬質塩化ビニルを被覆したもので、下図のと通りの受口を形成しており、充填材（ブチルテープ）との併用ですぐれた防食性能を発揮します。



■サイズ表

種類	呼び径 (A)	15	20	25	32	40	50	65	80	100	20x15	25x15	25x20	32x20	32x25	40x20	40x25	40x32	50x20	50x25	50x32	50x40	80x50	80x65	100x50	100x65	100x80
エルボ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チーゾ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソケット		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ストリートボ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プラグ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

キーロンVIニップルは、キーロンVI（白）の両管端に管用テーパーねじ（JIS B 0203）を加工した短管です。



呼び径 L (mm)	90	100	125	150	180
1/2 (15A)	○	○	○	○	○
3/4 (20A)	○	○	○	○	○
1 (25A)	○	○	○	○	○
1 1/4 (32A)	○	○	○	○	○
1 1/2 (40A)	○	○	○	○	○
2 (50A)	○	○	○	○	○
2 1/2 (65A)	○	○	○	○	○
3 (80A)	○	○	○	○	○
4 (100A)	○	○	○	○	○



ブチルテープの規格と種類

■キーロンブチルテープ

キーロンVI継手は、防食上独特の受口を形成しております。そのため、キーロンブチルテープをご用意しております。充填材としてぜひご使用ください。（色:アイボリー）

規格 (巾×厚み×長さ)	入数
22mm×3mm×4000mm	20



■パッキンセット (15A~50A・80A)

露出配管用として、キーロンVI継手とキーロンVIを接合する場合、美観をそこなわない充填材としてパッキンセット（ブチルテープとパッキンを組み合わせたもの）をご用意しております。



品質

キーロンVI

区分	項目	品質	試験方法
鋼管 黒管 白管 配管用炭素鋼鋼管		JIS G 3452の規定による	
外面被覆材 (硬質塩化ビニル)	引張降伏強さ	45MPa以上 (23℃)	JIS K 6815-2に準ずる
	ビカット軟化温度	80℃以上	JIS K 7206に準ずる
	耐電圧	10,000~12,000V	JIS C 8430に準ずる
	耐候性促進暴露試験	変退色しないこと	JIS A 1415に準ずる
	耐薬品性試験 蒸留水 10%塩化ナトリウム 30%硫酸 40%硝酸 40%水酸化ナトリウム	重量変化が±0.2mg/cm ² 以内	JIS K 7114に準ずる (60℃×5hr浸漬)
キーロンVI	外観および形状	外面被覆材には有害な傷、凹凸、ひび割れ等の欠陥がなく、実用的にまっすぐで管端は管軸に対し直角	目視
	ピンホール	ピンホールのないこと	ホリデーディテクターにて、電圧10,000~12,000Vの印加
	接着力試験	2.0MPa以上 (200Aのみ)	圧縮試験機等で押し抜き
	トルク試験	規定トルクを加え、被覆材が空転または破損しないこと	管に所定のパイレンヘッドトルクレンチをかけて柄を水平にし、その状態から徐々に加重し被覆材が破損または空転した時のトルクを測定する (試験温度: 23±3℃) パイレンヘッドトルクレンチ 呼び径 (A) トルク値 N・m 15 80以上 20 120以上 25 200以上 32 240以上 40 240以上 50 300以上 65 300以上 80 450以上 100 600以上 125 700以上 150 800以上 呼び径 (A) サイズ 15 250mm 20 300mm 25 350mm 32 450mm 40 450mm 50 600mm 65 900mm 80 900mm 100 900mm 125 チェーンツング 150 チェーンツング
	ねじ切り試験	管両端にJIS管用テーパーねじ加工ができること (200Aは除く)	自動切り上げ式のねじ切り機を用い、23±3℃の雰囲気下で規定長さの短管の両側にJIS B 0203の管用テーパーねじ加工を施す

キーロンVI継手

区 分		項 目	品 質	試 験 方 法																																								
本 体 ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手 (JIS B 2301)	材 料		JIS G 5705 (黒心可鍛鋳鉄品)のFCMB27-05とする	JIS G 5705またはJIS G 5501およびJIS B 2301による																																								
	外 観		継手の内外面は、滑らかで割れおよび有害なキズ、いぼり、砂付き等の欠点がない	JIS B 2301の各項目による																																								
	漏 れ		0.5MPaの空気圧を加えたときもれない																																									
	耐 圧		2.5MPaの水圧を加えたとき破壊その他異常がない																																									
	ね じ		JIS B 0203の管用テーパーねじ																																									
	ねじ軸線のくるい		各ねじ軸線間の角度のくるいは2/300mm以下																																									
	めっき		均一なめっき層の付着	JIS H 0401 (溶融亜鉛めっき試験方法)による																																								
外面被覆材 (硬質塩化ビニル)	引張降伏強さ		24MPa以上 (23℃)	JIS K 7161に準ずる																																								
	ピカット軟化温度		60℃以上	JIS K 7206に準ずる																																								
	体積固有抵抗率		10 ¹⁵ Ω・cm以上	JIS K 6911に準ずる																																								
	色 調		マンセル記号 (VI) 2.5Y 9/2	目 視																																								
	耐候性促進暴露試験		変退色しないこと	JIS K 7350に準ずる																																								
	耐薬品性試験	蒸留水	重量変化が±0.2mg/cm ² 以内	JIS K 7114に準ずる (60℃×5hr浸漬)																																								
		10%塩化ナトリウム																																										
30%硫酸																																												
40%硝酸																																												
40%水酸化ナトリウム																																												
キ-ロンVI継手	外観および形状		外面被覆材には防食上有害なキズ凹凸、しわ、こげ、異物混入およびひび割れなどの欠陥がないこと	目 視																																								
	ピンホール		ピンホールのないこと	ホリデーディテクターにて電圧10,000~12,000Vを印加																																								
	ねじ軸芯ぶれ		防食管 (直管) と接合した際、受口部内面と直管表面とが接触し、有害な応力が発生しないこと	ねじゲージ (JIS B 0262テーパーねじゲージ) または防食管 (直管) との接合																																								
	トルク試験	規定トルクを加え、被覆材が空転または破損しないこと		継手を治具で固定しパイレンヘッドトルクレンチをかけて柄を水平にし、その状態から徐々に加重し被覆材が破損または空転した時のトルクを測定する (試験温度: 23±3℃)																																								
		<table><tr><th>呼び径 (A)</th><th>トルク値 N.m</th></tr><tr><td>15</td><td>80以上</td></tr><tr><td>20</td><td>120以上</td></tr><tr><td>25</td><td>200以上</td></tr><tr><td>32</td><td>240以上</td></tr><tr><td>40</td><td>240 (200) 以上</td></tr><tr><td>50</td><td>300 (200) 以上</td></tr><tr><td>65</td><td>300 (240) 以上</td></tr><tr><td>80</td><td>450 (300) 以上</td></tr><tr><td>100</td><td>600 (450) 以上</td></tr></table> (注) ブロー成形品のチーズ・径違いチーズの分岐およびソケット・径違いソケットのトルクは () 内とする		呼び径 (A)	トルク値 N.m	15	80以上	20	120以上	25	200以上	32	240以上	40	240 (200) 以上	50	300 (200) 以上	65	300 (240) 以上	80	450 (300) 以上	100	600 (450) 以上	<table><tr><th colspan="2">パイレンヘッドトルクレンチ</th></tr><tr><th>呼び径 (A)</th><th>サイズ</th></tr><tr><td>15</td><td>250mm</td></tr><tr><td>20</td><td>300mm</td></tr><tr><td>25</td><td>350mm</td></tr><tr><td>32</td><td>450mm</td></tr><tr><td>40</td><td>450mm</td></tr><tr><td>50</td><td>600mm</td></tr><tr><td>65</td><td>900mm</td></tr><tr><td>80</td><td>900mm</td></tr><tr><td>100</td><td>900mm</td></tr></table>	パイレンヘッドトルクレンチ		呼び径 (A)	サイズ	15	250mm	20	300mm	25	350mm	32	450mm	40	450mm	50	600mm	65	900mm	80	900mm
呼び径 (A)	トルク値 N.m																																											
15	80以上																																											
20	120以上																																											
25	200以上																																											
32	240以上																																											
40	240 (200) 以上																																											
50	300 (200) 以上																																											
65	300 (240) 以上																																											
80	450 (300) 以上																																											
100	600 (450) 以上																																											
パイレンヘッドトルクレンチ																																												
呼び径 (A)	サイズ																																											
15	250mm																																											
20	300mm																																											
25	350mm																																											
32	450mm																																											
40	450mm																																											
50	600mm																																											
65	900mm																																											
80	900mm																																											
100	900mm																																											

配管上の注意



- 切断部に高熱を与えるガス切断やアーク切断は避けてください。
- ねじ切り加工は自動切り上げ式のねじ切り機を使用してください。
- 配管施工時に有機系薬品 (ケトン類、二硫化炭素、四塩化炭素など)、木材防腐用クレオソート等が接触すると膨潤、軟化、亀裂などの現象を起す恐れがありますのでご注意ください。
- 曲げ加工はできません。

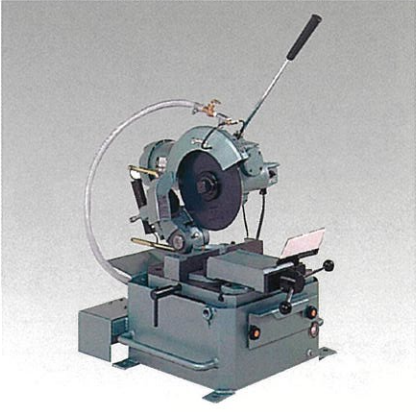
切断加工

切断は、その方法によって切断面にはげしい局部加熱をとめない被覆した硬質塩化ビニルの変質や剥離をまねく恐れがありますので、ご注意ください。



パイプカッター

パイプカッター単独の工具と、ねじ切り機にセットされたものがあり、いずれも回転カッター刃で押し切る方法ですが、切断面の硬質塩化ビニルを剥離させるおそれがありますのでご注意ください。また切断後は内面の面取りを十分行なってください。



バンドソー

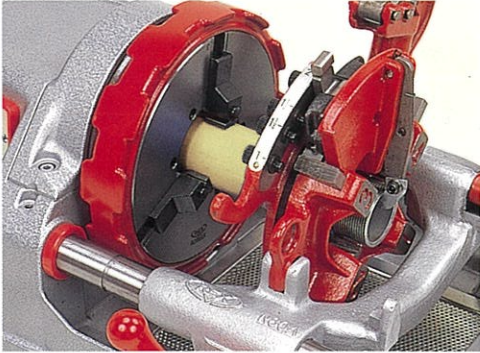
歯がエンドレスのため、切断面は管軸に対し直角に、かつ硬質塩化ビニルを傷つけることなくスピーディーに切断できます。

メタルソー

のこ刃を回転させながら切断するもので、鋼管のバリや硬質塩化ビニルの割れがありません。

ねじ加工

- 自動切り上げ式のねじ切り機を使用してください。
- JIS B 0203に規定される「管用テーパーねじ」を切ってください。
- 前もって試し切りを行ない、JISテーパーねじゲージで寸法を確認してください。
- 特にチェザーの摩耗管理をしてください。切れ味の悪くなったチェザーは切削時の負荷が大きくなり、硬質塩化ビニルの欠けや割れが発生するなど正常なねじが切れない場合があります。
- 短ニップル (両ねじ) 加工は23±3℃において管長250mm以上とします。



配管施工方法

配管施工

配管施工方法は、キーロンVIとキーロンVI継手を用いて下記要領で行なうのが最適ですが、キーロンVI継手のないサイズ、品種については、市販のねじ継手を用いて防食処理を行なってください。

■キーロンVI継手を用いたねじ配管

シール材 プチルテープを用いる場合

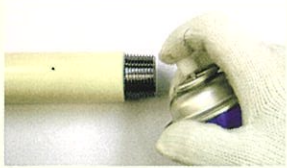
① 切 断

配管施工方法「切断加工」P-6に準じて行ないます。

② ねじ切り

配管施工方法「ねじ加工」P-6に準じて行ないます。

③ ねじ接合面の清掃・脱脂



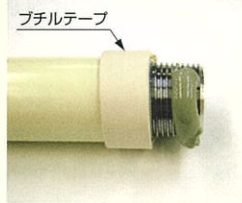
ねじ切り加工が終ればねじ部の切削油や切粉をウエスなどでぬぐいとります。

④ ねじシール剤塗布



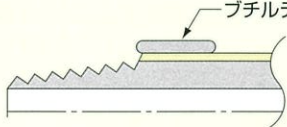
図のように、ねじ先端よりガス用のねじシール剤を施します。

⑤ プチルテープ巻き



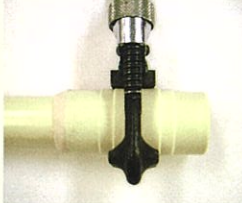
管外面塩ビ切り上がり部に合わせて管に1周巻き付けます。(100Aは2枚重ねて巻き付けてください)巻き付け要領は15A~40Aは離型紙を外し少し引張り気味に、50A~100Aは離型紙を外さず巻き付けた後で取り外し、手で軽く押さえてください。

プチルテープ



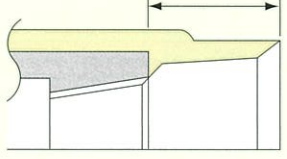
呼び径 (A)	テープ切断長 (mm)
15	50
20	70
25	90
32	110
40	140
50	220
65	270
80	310
100	390×2

⑥ 接 合



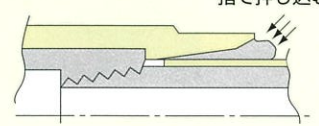
継手を直管に手でねじ込みます。手締め後、適正な被覆鋼管用パイプレンチを用いて継手受口部にかからないように標準トルクで締め付けてください。
※外面被覆に鋼面に達するような著しい傷がある場合は、防食テープなどで補修してください。

この部分にはパイプレンチをかけない



呼び径 (A)	標準トルク値 (N・m)	パイプレンチのサイズ (mm)	標準ねじ込み山数
15	40	250	6
20	60	300	7
25	100	350	6
32	120	450	7
40	150	450	7
50	200	600	9
65	250	900	10
80	300	900	11.5
100	400	900	14

⑦ 充 填



指で押し込む

締付後プチルテープが継手受口部全周に行きわたっていることを確認の上、直管と継手の隙間に押しつけるように指先などでみだしたプチルテープを充填してください。

■キーロンVI継手、パッキンセットを用いた接合 (適用サイズ15A~50A・80A)

露出配管 (キーロンVI継手、パッキンセット) に対して適用します。

① 切 断

配管施工方法「切断加工」P-6に準じて行ないます。

② ねじ切り

配管施工方法「ねじ加工」P-6に準じて行ないます。

③ ねじ接合面の清掃

「キーロンVI 継手を用いたねじ配管」P-7③に準じて行ないます。

④ パッキン取付



図のようにあらかじめパッキンを取付けておきます。

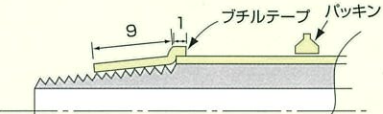
⑤ ねじシール剤塗布

「キーロンVI継手を用いたねじ配管」P-7④に準じて行ないます。

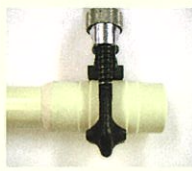
⑥ プチルテープ巻き



「キーロンVI 継手を用いたねじ配管」P-7⑤に準じて行いますが、被覆部とねじ部にそれぞれ1:9ずつかかるように1周巻き、軽く押えておきます。

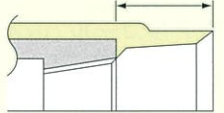


⑦ 接 合



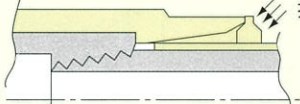
継手を直管に手でねじ込みます。手締め後、適正な被覆鋼管用パイプレンチを用いて継手受口部にかからないように標準トルクで締め付けてください。この部分にはパイプレンチをかけない

※外面被覆に鋼面に達するような著しい傷がある場合は、防食テープなどで補修してください。



呼び径 (A)	標準トルク値 (N・m)	パイプレンチのサイズ (mm)	標準ねじ込み山数
15	40	250	6
20	60	300	7
25	100	350	6
32	120	450	7
40	150	450	7
50	200	600	9
80	300	900	11.5

⑧ 充 填



指で押し込む

締付後パッキンを直管と継手の隙間に押しつけるように指先などで充填してください。

■突合わせ溶接による配管施工法 (防食テープ巻き)

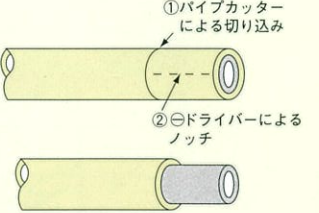
管を突合せ溶接したのち防食テープにより防食する方法で、管の突合せ溶接は通常のガス配管に準じます。

① 硬質塩化ビニルの除去

管端の硬質塩化ビニルを一定寸法剥離する作業で、図のように、①パイプカッターと②ドライバーで外面被覆にノッチ (切れ目) を入れてはぎとります。

※剥離長さ

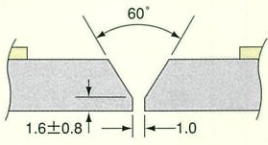
呼び径 (A)	剥離長さ (mm)
15~ 50	30~ 50
65~100	50~ 70
125~200	70~100



①パイプカッターによる切り込み
②ドライバーによるノッチ

② 溶 接

鋼管の先端部に開先 (60°) をとり溶接します。被覆部が高温になる場合は、濡れウエス等を巻いて被覆部に熱が伝わらない様にしてください。

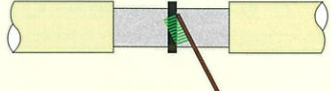


60°
1.6±0.8
1.0



③ 清 掃

溶接スパッタや鋼管の赤錆、汚れなどを落します。



④ 防食シート

図のように、鋼管露出部より30~50mmはなれた位置から、ペトロラタム系防食シートを巻きます。(空気ダマリが出来ないように空気を追いだすように押えながら貼りあわせてください。)



④ 防食テープ巻き

防食テープ巻きは、前記防食シートの上に2重巻きしますが、ラップ (重なり) は15mm以上とし防食シートが表面にでないように多少長目に巻きつけ、手で強く押え込みます。



防食シート
防食テープ

外面被覆の耐薬品性

外面に被覆している硬質塩化ビニルの耐薬品性は、下表の通りです。

()は濃度

酸		温度℃	
薬品名		20	40
塩酸 (35%)	酸	◎	◎
硫酸 (60%)	酸	◎	○
硫酸 (90%)	酸	◎	△
硫酸 (98%)	酸	○	×
硝酸 (70%)	酸	○	△
硝酸 (95%)	酸	×	△
クロム酸 (15%)	酸	◎	○
クロム酸 (50%)	酸	◎	○
リン酸	酸	◎	○
次亜塩素酸 (10%)	酸	◎	○
塩素水	酸	○	△
シアン酸	酸	◎	◎
酢酸 (95%未満)	酸	◎	△
酢酸 (95%以上)	酸	○	×
ベンゼンスルホン酸	酸	○	○
ベンゾイックアシッド	酸	◎	◎
蟻酸 (50%以下)	酸	◎	◎
蟻酸 (95%以上)	酸	○	×
修酸	酸	◎	◎
乳酸	酸	◎	◎
酪酸 (20%)	酸	◎	○
クロール酢酸	酸	◎	○
オレイン酸	酸	◎	◎
マレイン酸	酸	◎	○
ピクリン酸	酸	×	△
脂肪酸	酸	◎	◎
ステアリン酸 (100%)	酸	◎	◎
アジピン酸 (飽和)	酸	◎	○
氷酢酸	酸	△	×
混酸 H ₂ SO ₄ : CrO ₃ (25% : 25%)	酸	○	△
H ₂ SO ₄ : HNO ₃ (50% : 50%)	酸	○	×

アルカリ		温度℃	
薬品名		20	40
苛性ソーダ	アルカリ	◎	◎
苛性カリ	アルカリ	◎	◎
アンモニア水	アルカリ	◎	◎
石灰乳	アルカリ	◎	◎
水酸化カルシウム	アルカリ	◎	◎
有機薬品		温度℃	
薬品名		20	40
プロパン液状	有機薬品	◎	△
アセトン (100%)	有機薬品	×	△
メチルアルコール (100%)	有機薬品	◎	○
エチルアルコール (100%)	有機薬品	◎	○
アニリン (100%)	有機薬品	×	△
ベンゼン (100%)	有機薬品	×	△
ケトン類	有機薬品	×	△
ブタノール	有機薬品	◎	○
四塩化炭素	有機薬品	×	△
クロロホルム	有機薬品	×	△
酢酸エチル	有機薬品	×	△
ホルマリン	有機薬品	◎	○
エチレンクロライド	有機薬品	×	△
フェノール (6%)	有機薬品	○	△
二硫化炭素	有機薬品	×	△
アセトアルデヒド	有機薬品	×	△
ガソリン	有機薬品	△	△
重油	有機薬品	×	△
グリセリン	有機薬品	◎	◎
四エチル鉛	有機薬品	◎	△

塩基		温度℃	
薬品名		20	40
重クロム酸カリ	塩基	○	△
過マンガン酸カリ	塩基	◎	○
硫酸ナトリウム	塩基	◎	△
過酸化水素水 (30%)	塩基	◎	○
過塩素酸カリ (1%)	塩基	◎	○
大概の金属の塩化物	塩基	◎	◎
硝酸塩 硫酸塩	塩基	◎	◎
ガス		温度℃	
薬品名		20	40
塩素ガス乾性 (100%)	ガス	△	×
塩素ガス湿性 (5%)	ガス	△	×
アンモニアガス	ガス	◎	○
亜硫酸ガス乾	ガス	◎	◎
亜硫酸ガス湿	ガス	◎	◎
炭酸ガス (100%)	ガス	◎	◎
硫化水素 (乾)	ガス	◎	○
硫化水素 (湿)	ガス	◎	◎
天然ガス	ガス	◎	△
石炭ガス	ガス	△	△
その他		温度℃	
薬品名		20	40
漂白液	その他	○	○
各種メッキ液	その他	○	△
写真現像液	その他	◎	◎
塩水	その他	◎	◎
澱粉糖溶液	その他	◎	◎
クレオソート	その他	×	△

◎侵されない ○大体侵されぬとみてよい △やや侵されるが使用可能 ×使用不可

取扱上の注意事項

いかに優秀な製品でも、その取扱いに無理が生じると、事故を引き起こす原因にもなります。工場出荷より、敷設までの作業工程において、防食層の性能を敷設後も継続して維持するため、注意事項をご理解の上、正しくご使用ください。

1 輸送上の注意

落下、及び強度の衝撃を与えますと、硬質塩化ビニルを破損することがあります。また、輸送の際にナイロンスリング以外で締め付ける場合は必ず保護(ゴム板等)してください。現場での積み降しには、特にご注意ください。



2 保管上の注意

炎天下や厳冬の場所に放置せず、置場には台木を敷き、必ず室内保管してください。やむをえず屋外保管する場合は、台木の上に置きシートを掛け直射日光と雨水を避けるとともに、熱気がこもらないように風通しのよい状態に保ってください。



3 工事現場における注意

近くでの火気や熱源は厳禁です。硬質塩化ビニルは、自己消火性ですが、高温に継続的にさらされると熱分解(発泡→炭化)を起します。とくに冬場の焚火にご注意ください。



4 配管上の注意

- 高熱を与えるガス切断やアーク切断はさけてください。
- ねじ切り加工は「自動切り上げ式のねじ切り機」をご使用ください。
- パイプレンチは外面被覆鋼管用パイプレンチをご使用ください。
- 曲げ加工はできません。
- 配管施工時に、有機系薬品(ケトン類、二硫化炭素、四塩化炭素など)、木材防腐用クレオソート等が接触すると、膨潤、軟化、亀裂などの現象を起す恐れがありますのでご注意ください。
- 外面被覆に鋼面に達するような著しい傷がある場合は、防食テープなどで補修してください。
- 外気温は40℃以下でご使用ください。

